

フォートラベル株式会社

2008年夏の旅行動向調査

調査期間:2008年8月25日～2008年9月19日

調査対象:「旅行のクチコミサイト フォートラベル」のサイト利用者及び、フォートラベル会員

調査回答サンプル数:663人(有効回答サンプル数:651)

調査実施 :フォートラベル株式会社

代表取締役社長 野田 臣吾

担当:経営企画室 矢野 智美

監修:旅行ジャーナリスト 村田 和子

< 調査目的 >

2008年7月16日にJATA広報室が発表した「2008年海外ツアー4月～6月実績と7月～9月予約状況」(http://www.jata-net.or.jp/tokei/tour/080716_tour.htm)の資料によると、2008年7月～9月の海外ツアー予約状況は、燃油サーチャージや物価高などの影響により、例年に比べて予約が減少しており、旅行者の旅行離れが懸念されていました。

そこで今回フォートラベルは、旅行好きのフォートラベル利用者を対象に、夏の旅行シーズンの動向を調査し、現在の旅行実態を把握することを目的に、本調査を実施いたしました。

< 調査方法 >

フォートラベルのサイト内にアンケートフォーム(<https://ssl.4travel.jp/campaign/enquete/200808/>)を設置。サイト内から設置ページへの動線を設け、誘導を行う。

< 調査項目 >

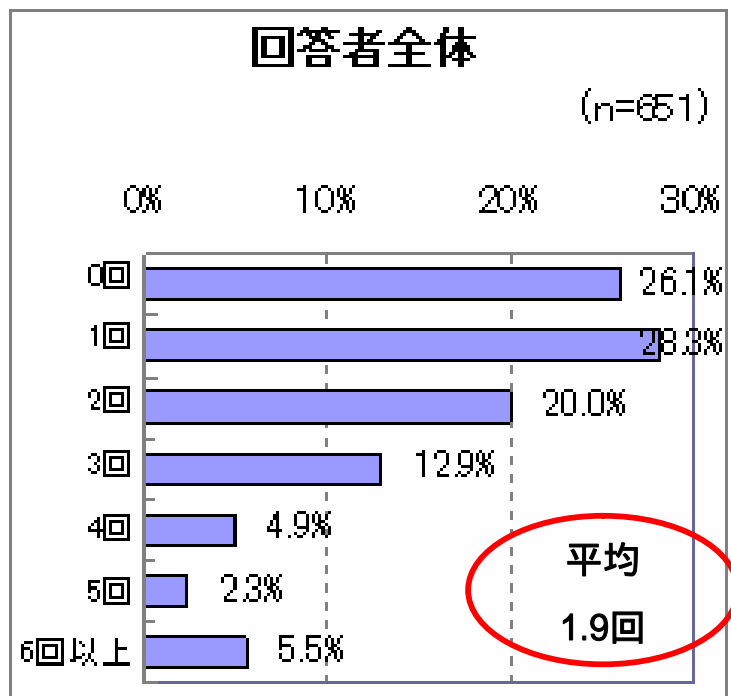
- ・今年の夏休みに取得した日数
- ・夏休みの過ごし方について(計画と、実際にどのようにして過ごしたか)
- ・旅行費用
- ・旅行の手配方法
- ・旅行の予約時期
- ・旅行を決める際に重視するポイント
- ・旅行前に参考にするメディア
- ・旅に何を求めるか(フリーコメント)

「旅に何を求めるか」のご報告については、今回のレポートでは割愛しております。

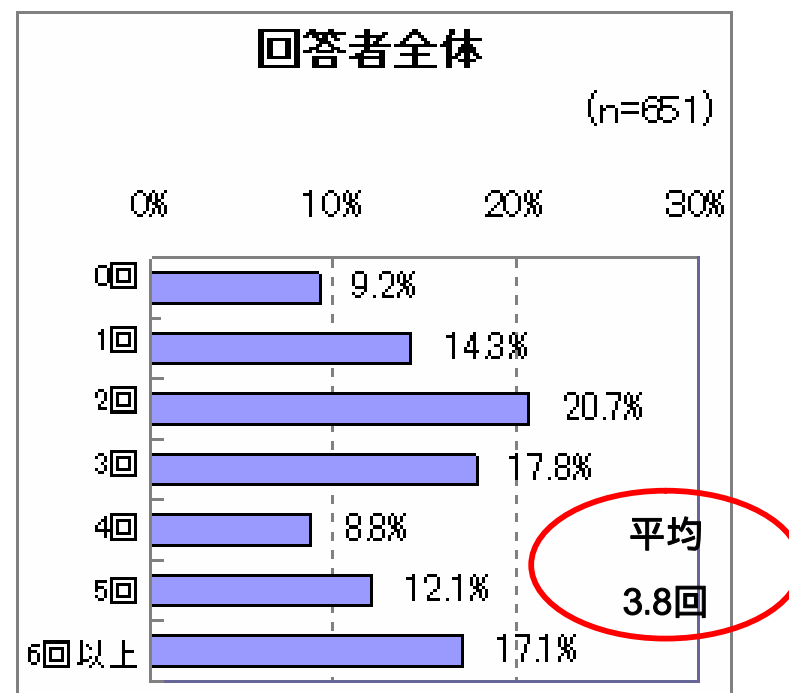
アンケート回答者の属性 ~ 旅行スタイル ~

回答者の属性は、年代は30代、40代で6割以上を占め、続いて20代(15%)、50代(12%)と続く。
男女比では女性が56%とやや多く、既婚者は全体の56%を占めるが、子供がいる人は全体の36%に留まる。
特筆すべきは、過去一年間に海外旅行数へ出かけた人が7割を超え、平均は1.9回。
国内旅行については、平均3.8回という結果に。
旅行意欲が高い旅のオピニオンリーダーが回答している調査結果としてP4以降報告を行う。

直近1年間で何回ぐらい海外旅行に行きましたか？



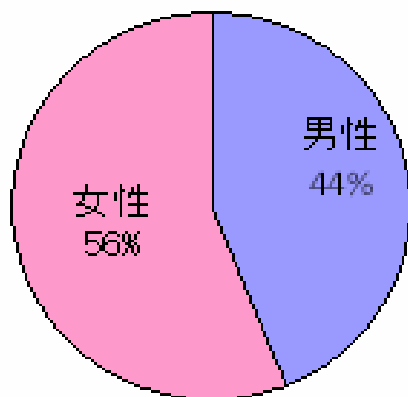
直近1年間で何回ぐらい国内旅行に行きましたか？



アンケート回答者の属性 ~ 性別・年齢・既婚・子供の有無・職業 ~

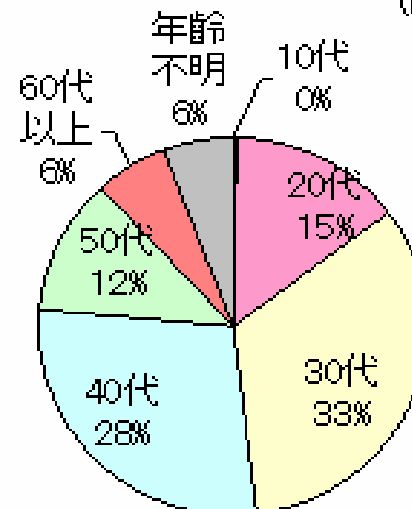
性別(全体)

(n=651)



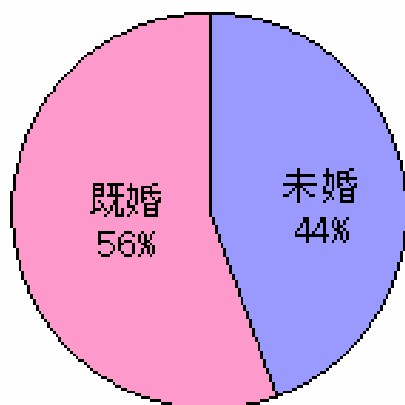
年齢(全体)

(n=651)



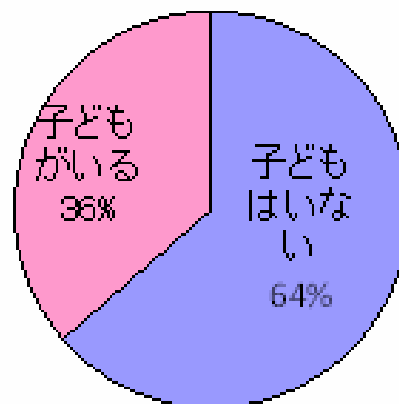
既婚/未婚(全体)

(n=651)



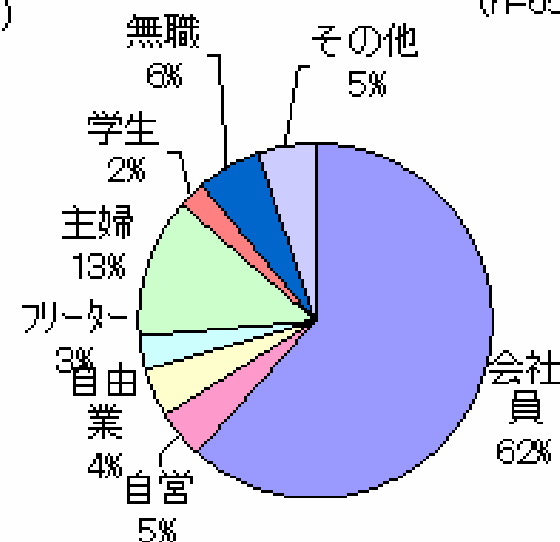
子どもの有無(全体)

(n=651)



職業(全体)

(n=651)

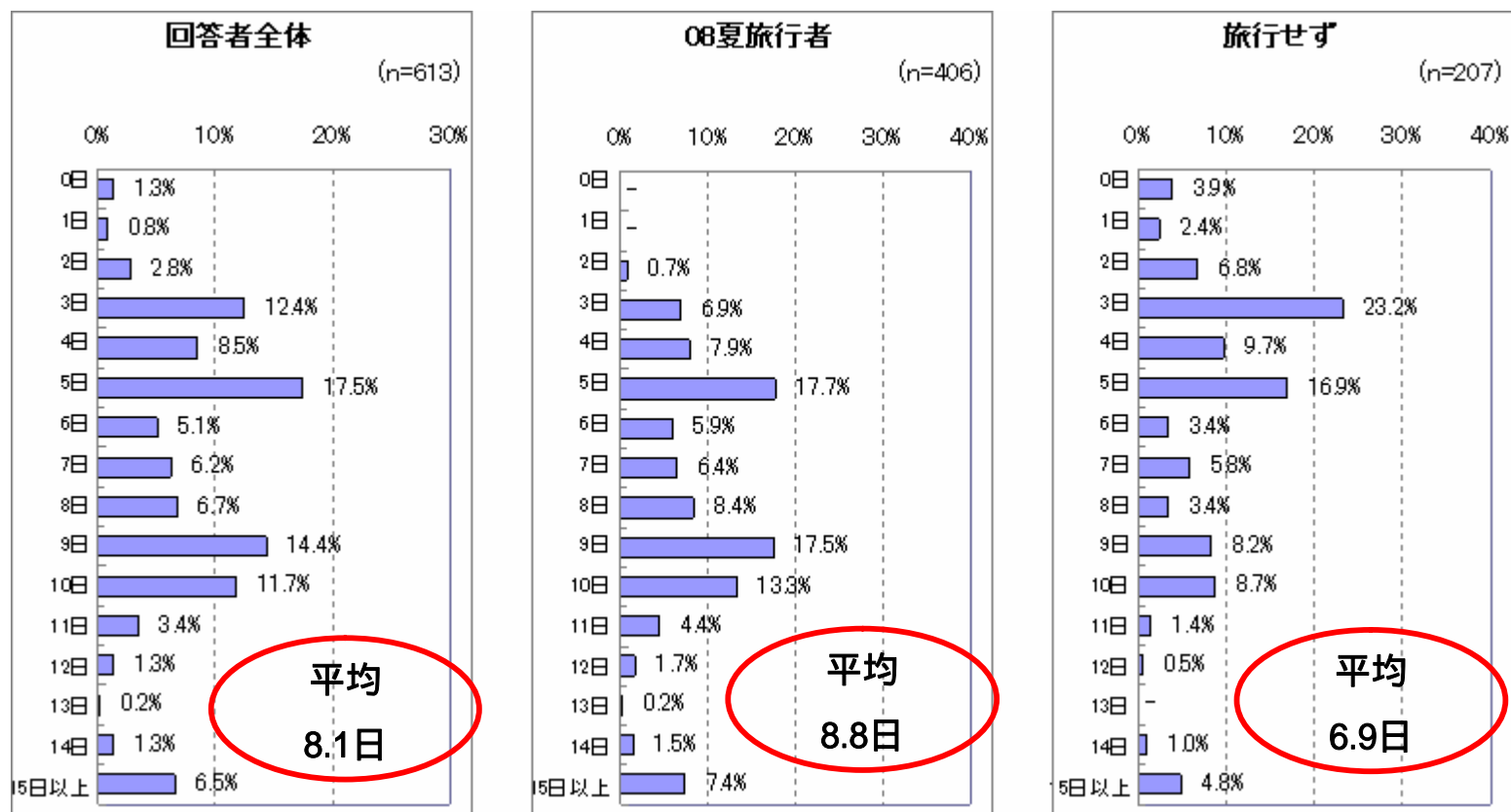


- 1) 夏休みの日数と旅行実施の関係について …… P5
 - 2) 夏休みの過ごし方について ~ 計画と実施 ~ …… P7
(計画と実施が異なった人の理由)
 - 3) 旅行日程 ~ 海外は5日間、国内は3日間がトップ ~ …… P9
 - 4) 旅の同行者 ~ 家族旅行比率が高く、ひとり旅も25% ~ …… P9
 - 5) 手配内容 ~ 個人手配が66%、海外旅行はツアーも検討 ~ …… P11
 - 6) 旅行の申し込み窓口 ~ WEB経由が69%、モバイルはほとんど利用せず ~ …… P12
 - 7) 申し込み窓口を選んだ理由 ~ 価格・手軽さ・安心感で使い分け ~ …… P13
 - 8) 旅行費用 ~ 平均費用を引き上げる層が存在 ~ …… P14
 - 9) 旅行の予約時期 ~ 海外旅行・国内旅行で明確な違い ~ …… P15
 - 10) 旅行を決めるにあたって、重視したポイント ~ 行き先重視だが、海外では変化も ~ …… P16
 - 11) 旅行前に参考にしたメディア ~ トップは旅行情報サイト ~ …… P17
- 調査結果の利用方法、その他問い合わせについて …… P17

1) 夏休みの日数と旅行実施の関係について vo1.1

2008年7月～9月の間で、一番長い連続休暇の日数について質問したところ、5日間と回答した人が17.5%と最も多く、続いて9日間(14.4%)となった。無職は除く

また、夏休み期間中に「宿泊を伴う旅行に出掛けた人」の休暇日数の平均は8.8日、「宿泊を伴う旅行に出掛けなかった人」の休暇日数は6.9日となった。休暇日数が多いほど、旅行に出掛ける人が多い傾向にあることが浮き彫りになった。(関連図表、次ページへ続く)



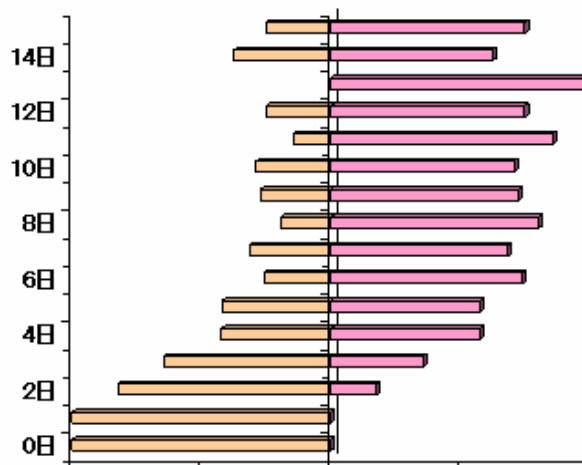
1) 夏休みの日数と旅行実施の関係について vo1.2

旅行実施は、休暇日数4日間以上で増え、海外旅行は6日間以上で実施率が高くなる傾向に。

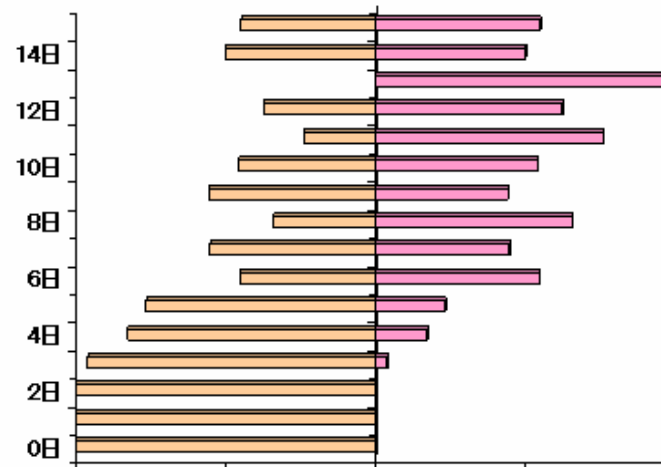
休暇日数と旅行の実施傾向をみると、休暇が3日間では、旅行へ行かなかった人(64.5%)が行った人(35.5%)を上回るが、休暇日数が4日間以上では逆転する。

また、海外旅行については、休暇日数が5日間では、行かなかった人の割合が76.6%と多いが、6日間になると、行った人が54.8%と、一気に増える傾向に。多少のバラつきはあるが、休暇日数6日間以上が、海外旅行を検討するひとつの目安になりそうだ。

休暇日数×旅行実施(国内&海外旅行)



休暇日数×旅行実施(海外のみ)



1. 休暇日数×旅行実施(国内&海外)

休暇日数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日以上
行った	0%	0%	17.6%	35.5%	57.7%	57.9%	74.2%	68.4%	80.5%	72.7%	70.8%	85.7%	75.0%	100%	62.5%	75.0%
行かなかった	100%	100%	82.4%	64.5%	42.3%	42.1%	25.8%	31.6%	19.5%	27.3%	29.2%	14.3%	25.0%	0%	37.5%	25.0%

2. 休暇日数×旅行(海外旅行のみ)

休暇日数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日以上
行った	0%	0%	0%	3.9%	17.3%	23.4%	54.8%	44.7%	65.9%	44.3%	54.2%	76.2%	62.5%	100.0%	50.0%	55.0%
行かなかった	100%	100%	100%	96.1%	82.7%	76.6%	45.2%	55.3%	34.1%	55.7%	45.8%	23.8%	37.5%	0%	50.0%	45.0%

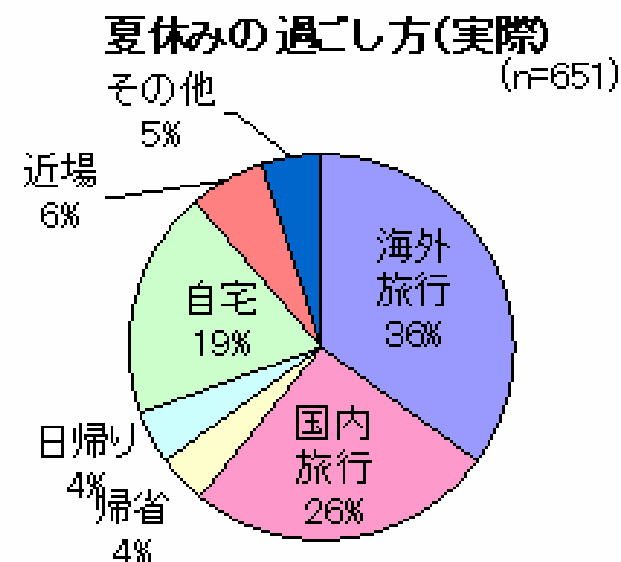
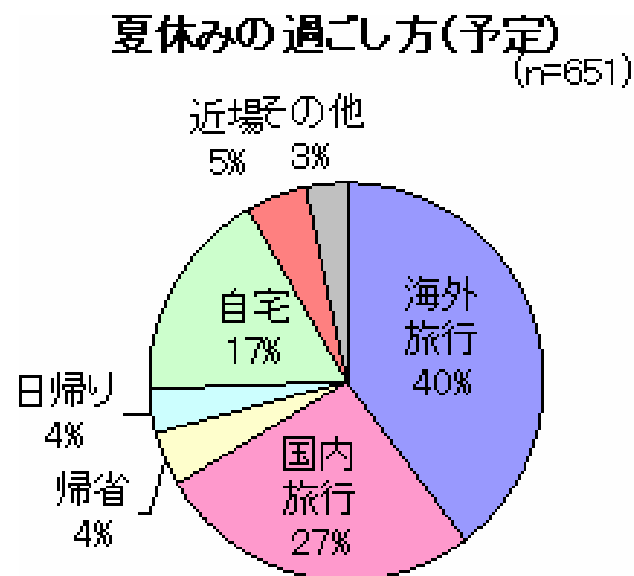
2) 夏休みの過ごし方について ~ 計画と実施 ~

旅行市場が低迷する中、67%の人が旅行を計画し、実際に62%の人が実施。旅行を取りやめた理由は、サーチャージよりも休みが少ない影響が大きい

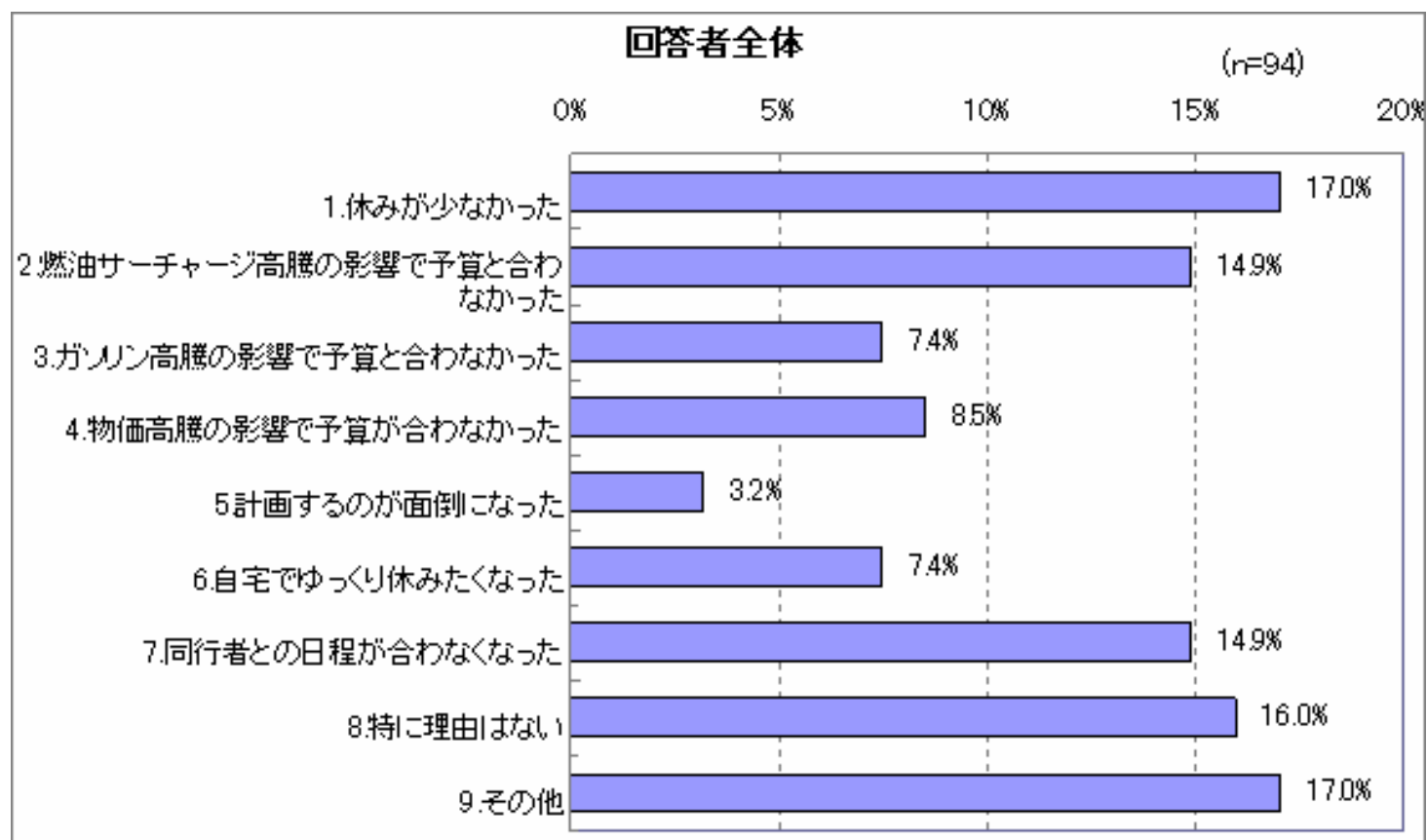
夏休みに旅行を計画していた人は全体の67%で、実際に旅行を実施した人は全体の62%という結果となった。

旅行を計画しながら、何らかの事情で旅行へ行けなくなった人は、計画をしていた人の8%にとどまり、旅のオピニオンリーダーは、計画通り旅へでた人が多いという結果になった。

旅を取りやめた理由としては、物価高や、燃油サーチャージの高騰など、この夏大きく取り上げられた影響を抑え、「休暇が少ない」という理由を挙げる人がトップとなった(データ詳細は次ページ)



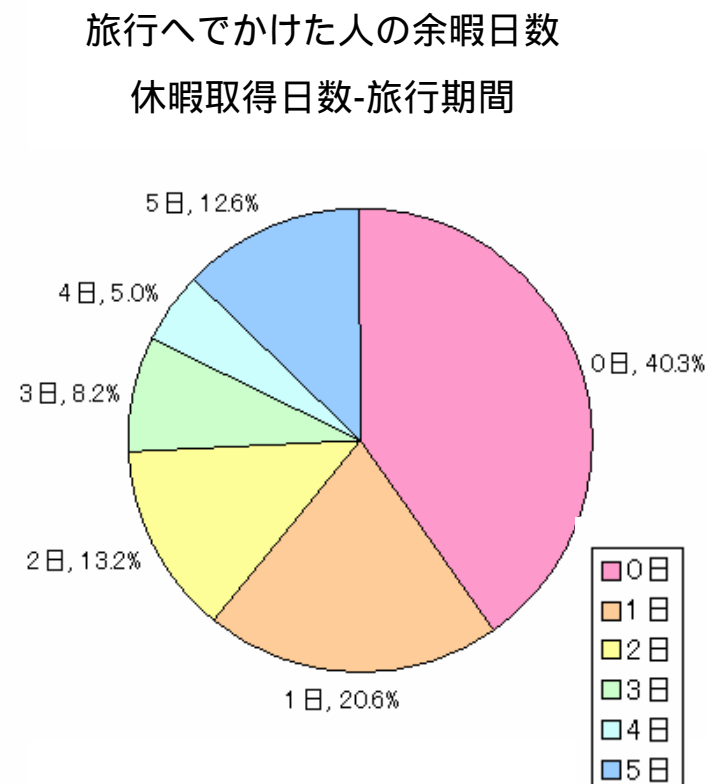
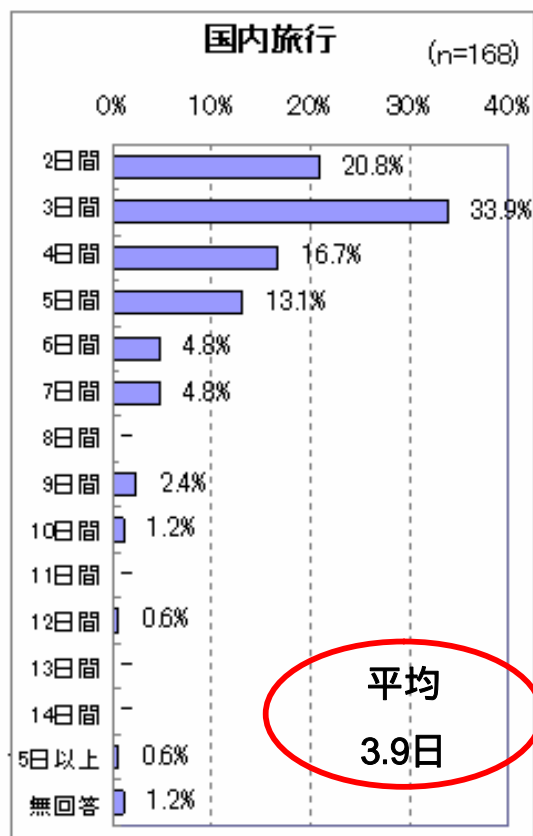
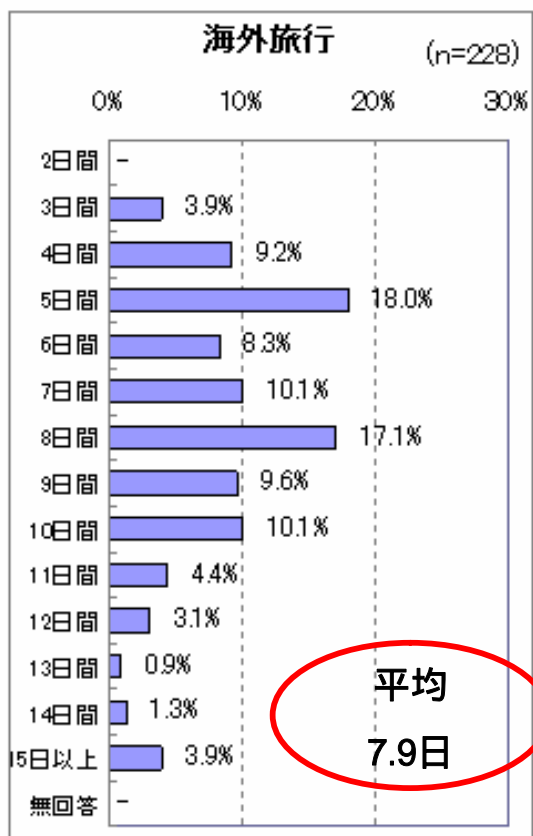
予定していた夏休みの過ごし方と、実際の過ごし方が異なっていた人の理由



3) 旅行日程 ~ 海外は5日間、国内は3日間がトップ ~

海外旅行の旅行期間は5日間(18.0%)が最も多く、ついで、8日間(17.1%)となった。国内は、3日間(33.9%)が圧倒的に多く、ついで2日間(20.8%)という結果に。

また、旅行期間と休暇日数との関係を見ると、休暇をそのまま旅行にあてている人は40.3%、1日を休息日とし、それ以外を旅行にあてている人が20.6%という結果に。休暇日数のほとんどを旅行へ費やす人が多い結果となった。



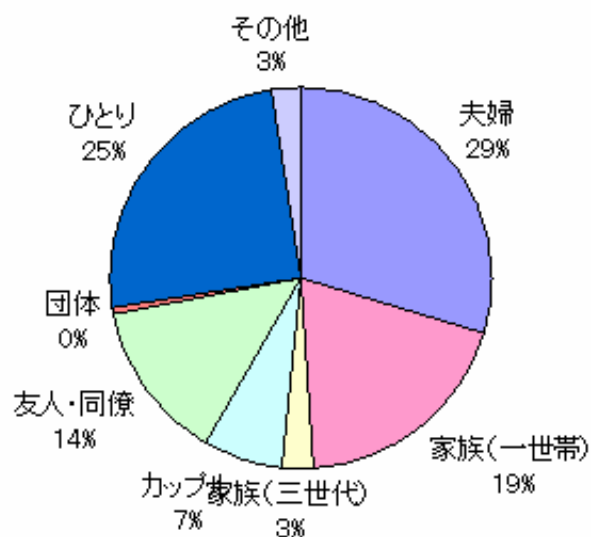
4) 旅の同行者 ~ 家族旅行比率が高く、ひとり旅も25% ~

夏の旅行の同行者は、夫婦及び1世帯での旅が、ほぼ半数を占め、“家族旅行”という位置づけの旅行比率が高い。また“ひとり”という回答も25%にのぼった。

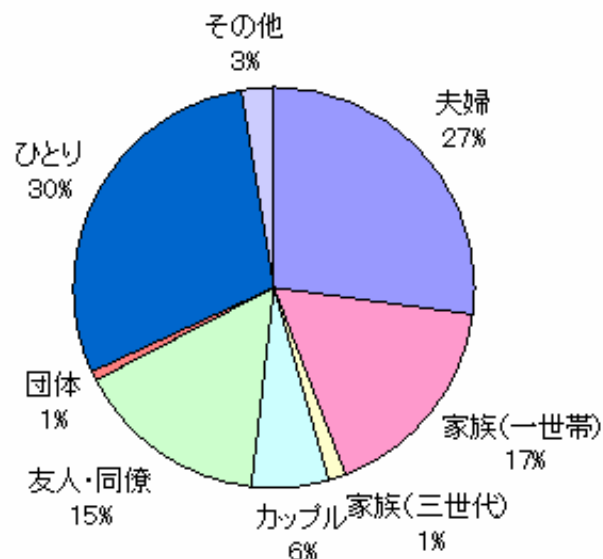
海外については“ひとり”という回答が増え30%に。休みが十分でない中、自分の都合だけで旅立てるという気軽さが、旅行慣れたフォートラベルの利用者に、人気の要因として考えられる。

なお、“ひとり”という回答は、女性では20代～30代、男性では30代～40代に多く、「旅に求めるもの」を聞いたところ、「非日常、自由、出会い」というワードが多く見られた。

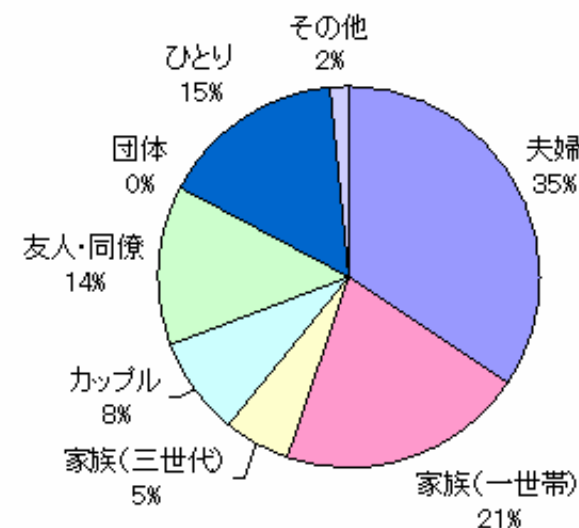
旅行の同行者 n=424



旅行の同行者(海外) n=228



旅行の同行者(国内) n=168



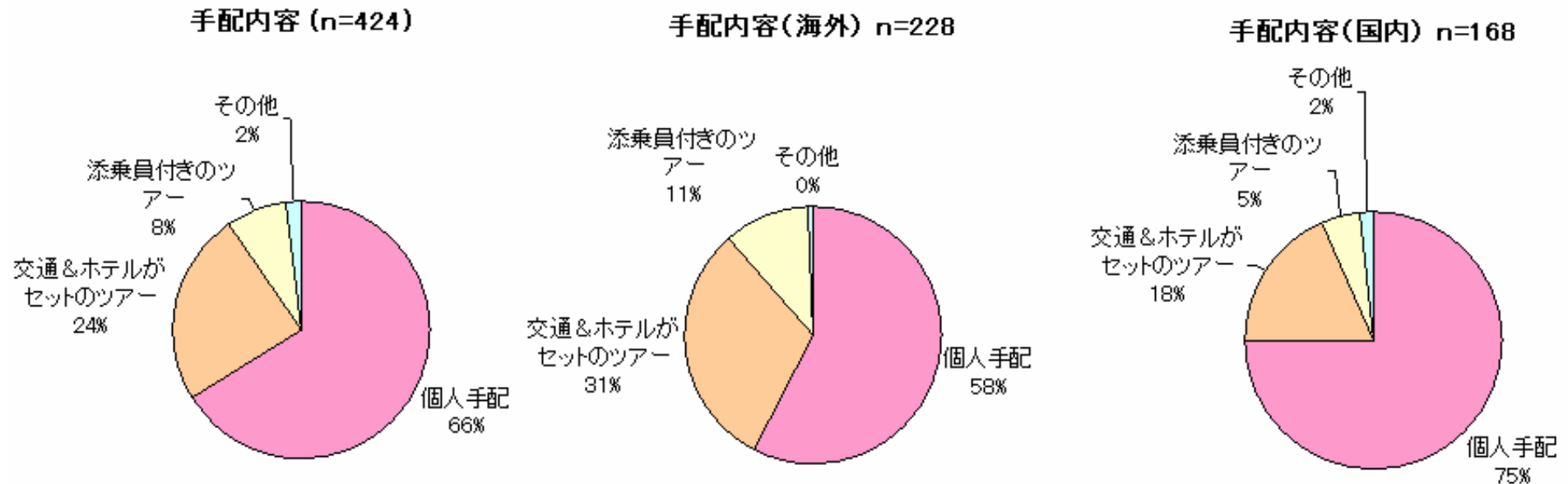
“ひとり”で旅をした人の属性(性別×年代)

	20代	30代	40代	50代以上	無回答	総計
女性	11.3%	15.1%	9.4%	2.8%	3.8%	42.5%
男性	8.5%	20.8%	16.0%	8.5%	3.8%	57.5%
総計	19.8%	35.8%	25.5%	11.3%	7.5%	100.0%

5) 手配内容 ~ 個人手配が66%、海外旅行はツアーも検討 ~

海外旅行、国内旅行ともに、個人手配が圧倒的に多いが、海外旅行についてはツアー手配が42%と、国内と比較するとツアーを利用した人が多いことが分かる。

海外ツアーの中身は、交通とホテルがセットになったツアーが31%、添乗員付きのツアーが11%となった。
旅に慣れているフォートラベルの利用者ならではの特徴と考える。



6) 旅行の申し込み窓口

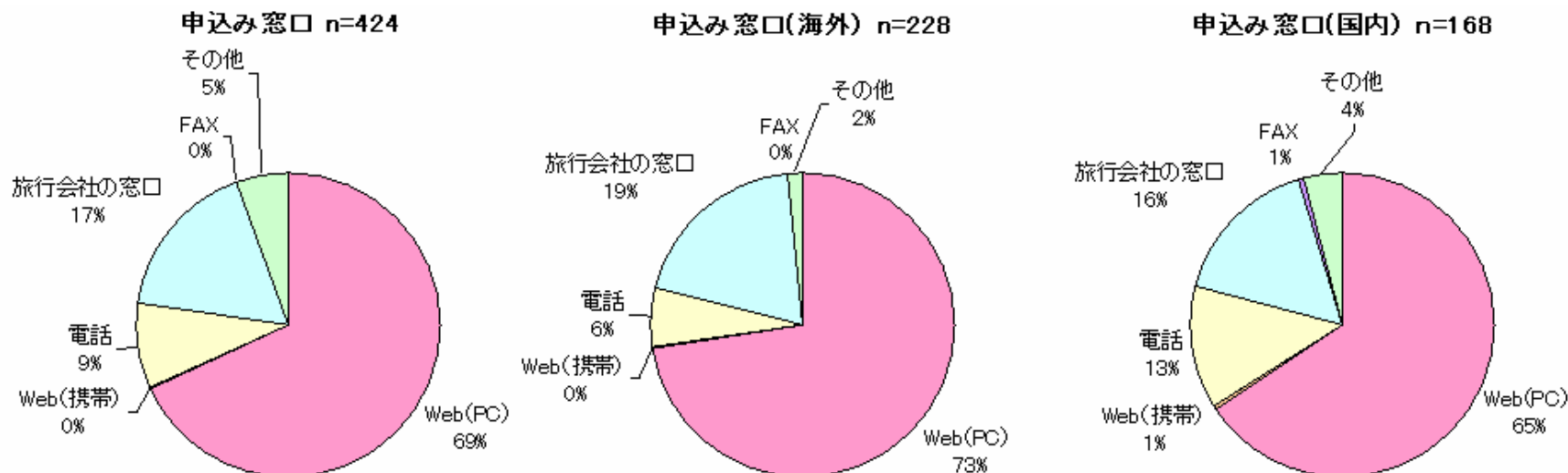
～ WEB経由が69%、モバイルはほとんど利用せず～

国内・海外ともにWEBでの手配が圧倒的に多く、全体で69%となった。ついで旅行会社の窓口が17%と続く。

海外旅行では「電話(6%)」が減少し、「WEB(73%)」「旅行会社の窓口(19%)」が増えた。一方、国内旅行は「電話(13%)」での手配が増えている。

また、各旅行会社が現在力を入れているモバイルでの予約については、1%が利用という結果に留まった。ただし調査実施がWEB(PCサイト)にて行っている点は考慮したいところである。

(手配方法を選んだ理由については次のページ)



< 補足 >

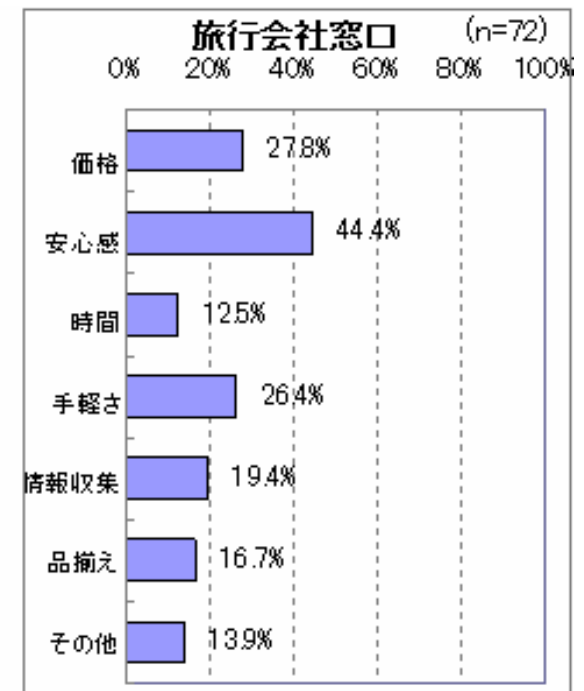
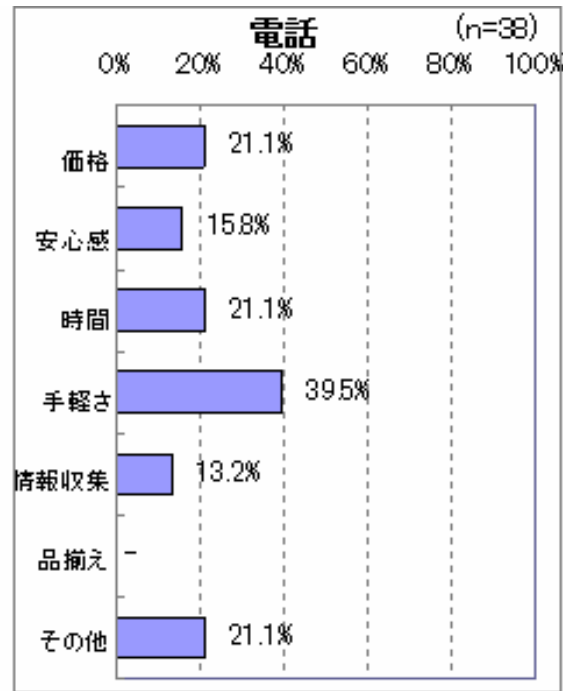
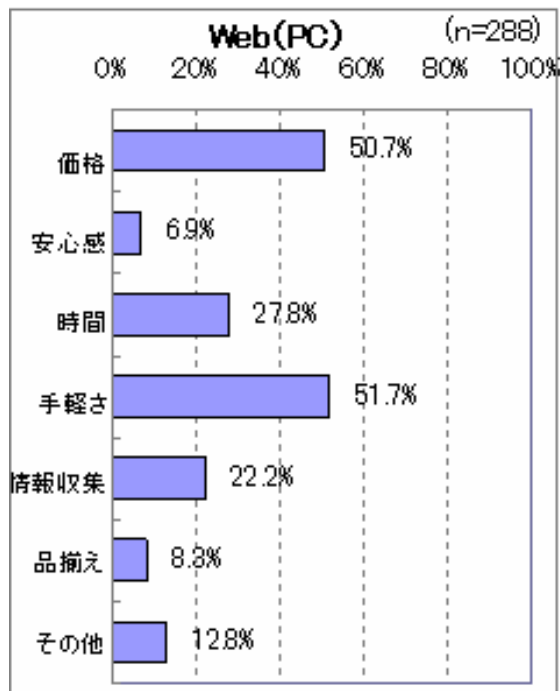
平成20年8月18日に経済産業省が発表した「平成19年度我が国のIT活用に関する調査研究」(電子商取引に関する市場調査)によると、過去1年間(2007年1月～2007年12月)にインターネットショッピングで何らかの商品・サービスを購入したことがある割合は86.9%に達しており、同様に、インターネット利用者における、インターネットショッピングでの支出の増減状況(1年前との比較)としては、46.7%の人が「増加した」と回答。このように、インターネットショッピングは我が国の消費活動において、購買手段の一つとして定着しており、今後も拡大が期待できるといわれています。

7) 申込み窓口を選んだ理由 ~ 価格・手軽さ・安心感で使い分け ~

それぞれの手配方法を選択した理由として“価格”“手軽さ”“安心感”を重視。手配内容で使い分けしている様子が伺える。

WEB(PC)は、価格を比較検討しての購入が容易で、24時間いつでも場所を選ばず予約ができることより、「手軽さ・価格・時間」の順に高い傾向がみられた。電話は「手軽さ・時間・価格」、旅行会社の窓口は「安心感・価格・手軽さ」という回答が多かった。

また、どの申し込み方法でもベスト3にランクインする“手軽さ”については、各選択毎に回答者がイメージした「手軽さ」の質は違うものと推測される。

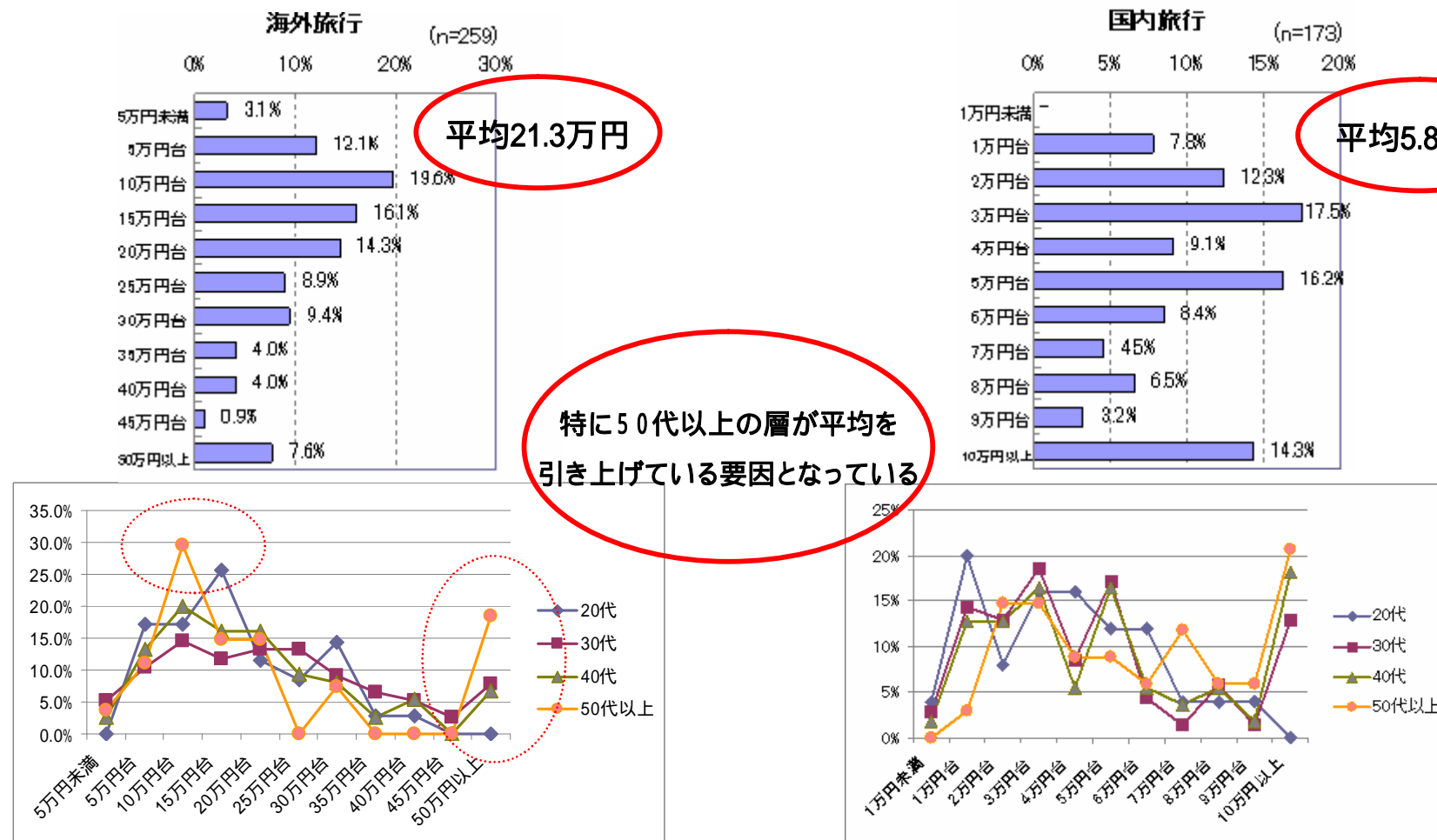


FAX、携帯、その他は選択した人が少なかったため、理由については割愛

8) 旅行費用 ~ 平均費用を引き上げる層が存在 ~

今年の夏の旅行の一人当たりの旅行費用は、海外旅行で平均が21.3万円、国内旅行で平均が5.8万円となった。(交通費+宿泊代金の合計金額、サーチャージ、ガソリン代も含む)

詳しく見ると海外では、10万円台(19.6%)が最も多く、国内は3万台(17.5%)、5万円台(16.2%)が多い結果となった。一方で海外旅行では50万円以上という回答が7.6%、国内旅行も10万円以上という回答が14.3%と一定数を占め、平均を引き上げる要因となっている。



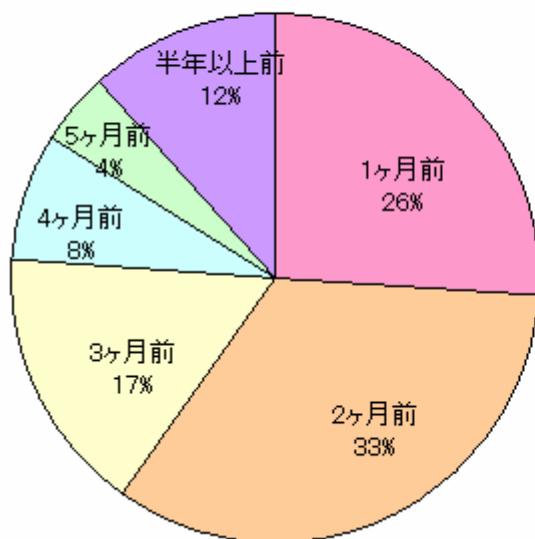
9) 旅行の予約時期 ~ 海外旅行・国内旅行で明確な違い ~

予約手配完了率()をみると、出発30日前には、海外旅行で82.6%、国内旅行では53.4%が予約を完了しており、明確な違いがあった。

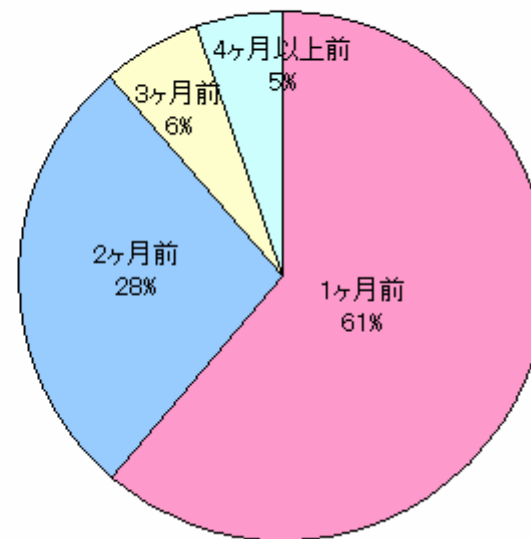
海外旅行では、出発日の2ヶ月前に予約をする人(33%)が最も多く、国内旅行は1ヶ月前から予約する人(61%)が圧倒的に多かった。

予約完了率 = 予約手配者の累積 / 予約手配者数全体
予約完了率のグラフについては次ページ

旅行の予約時期(海外) n=223

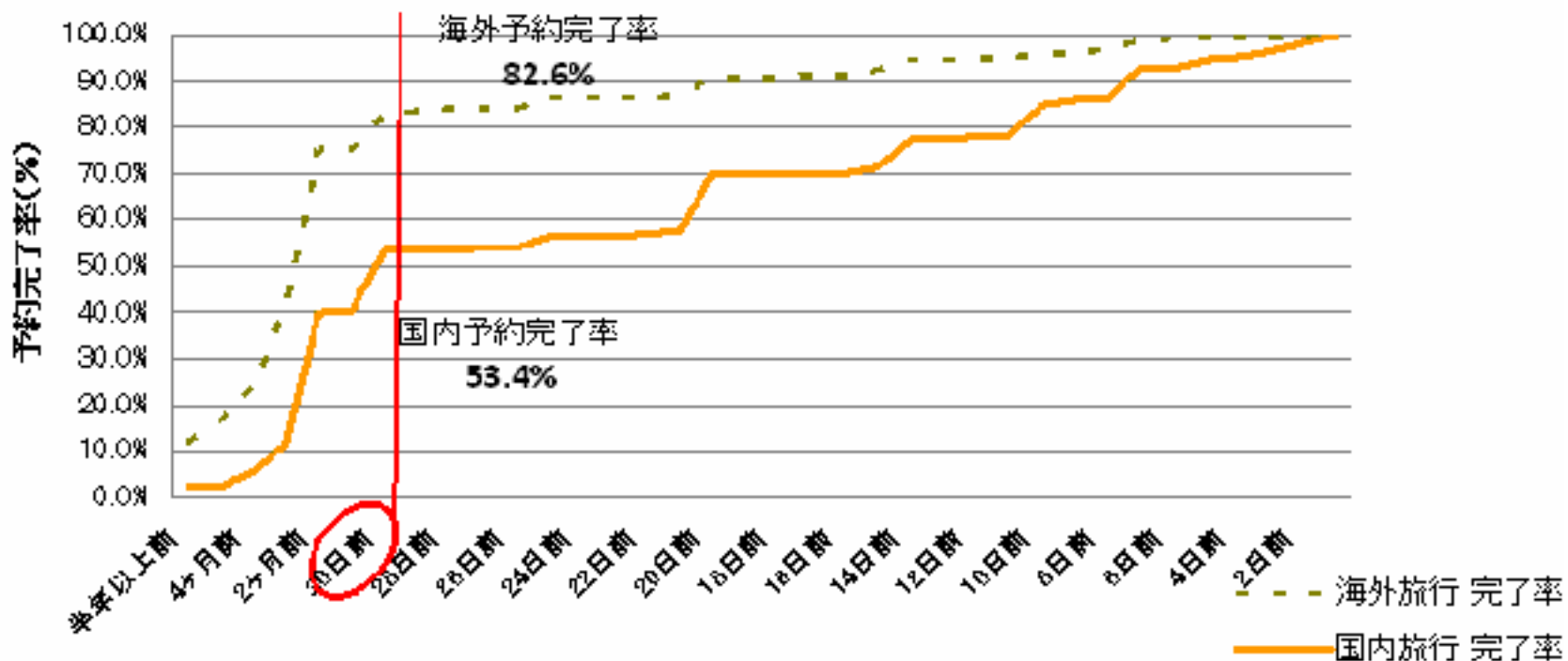


旅行の予約時期(国内) n=167



9) 旅行の予約時期 ~ 海外旅行・国内旅行で明確な違い~

海外旅行・国内旅行予約手配完了率



	半年以上前	4ヶ月前	2ヶ月前	30日前
海外旅行	11.9%	24.2%	75.3%	82.6%
国内旅行	2.5%	5.5%	39.9%	53.4%

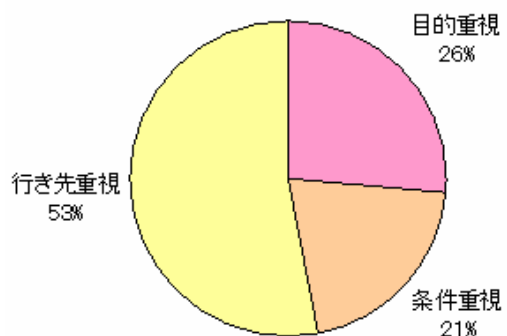
10) 旅行を決めるにあたって、重視したポイント

～ 行き先重視だが、海外では変化も～

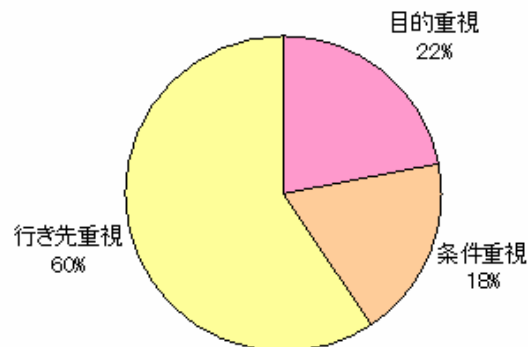
海外・国内旅行ともに、行き先を重視する人が多いが、海外旅行では、目的重視、条件重視が昨年と比較し大幅に増えた。

一方、国内旅行では、条件重視が増えている。本調査では物価高、ガソリン高などで、旅行を取りやめた人は少なかったが(P7、P8参照)、実際の旅では、期間や費用などの“条件”を重視して計画をしている姿がうかがえる。

重視したポイント(海外) n=228

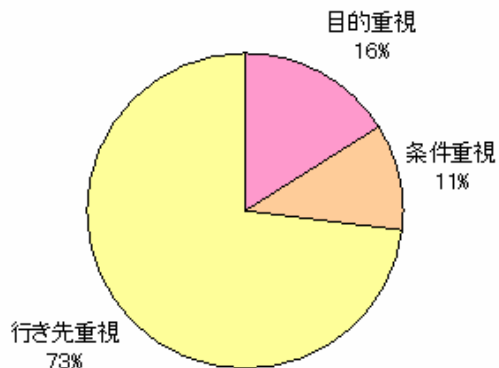


重視したポイント(国内) n=168

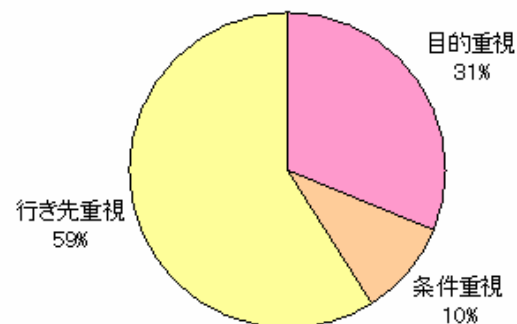


参考)昨年行ったアンケート調査でのデータ

重視したポイント(海外)



重視したポイント(国内)

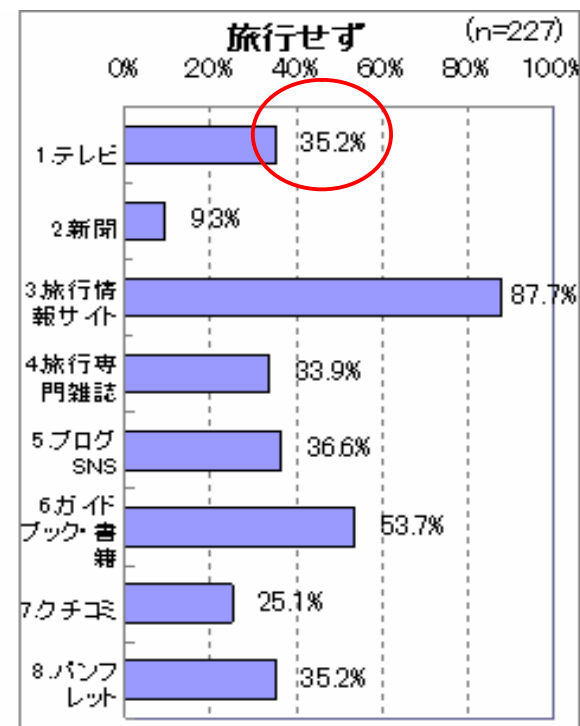
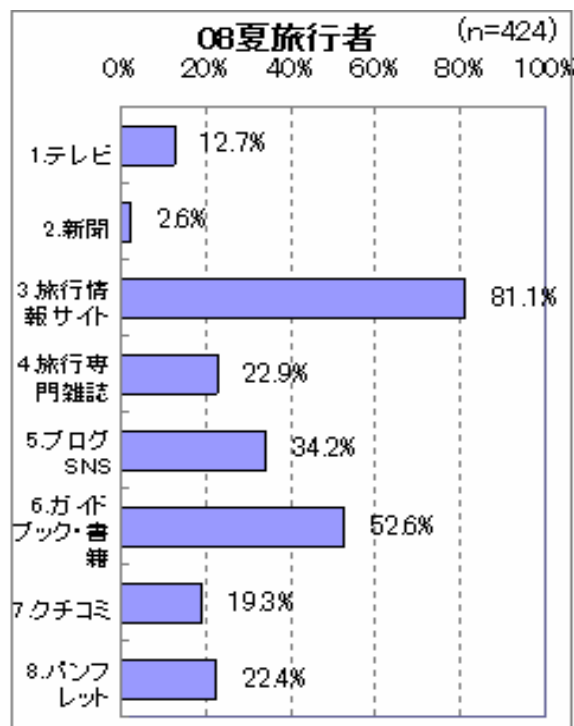
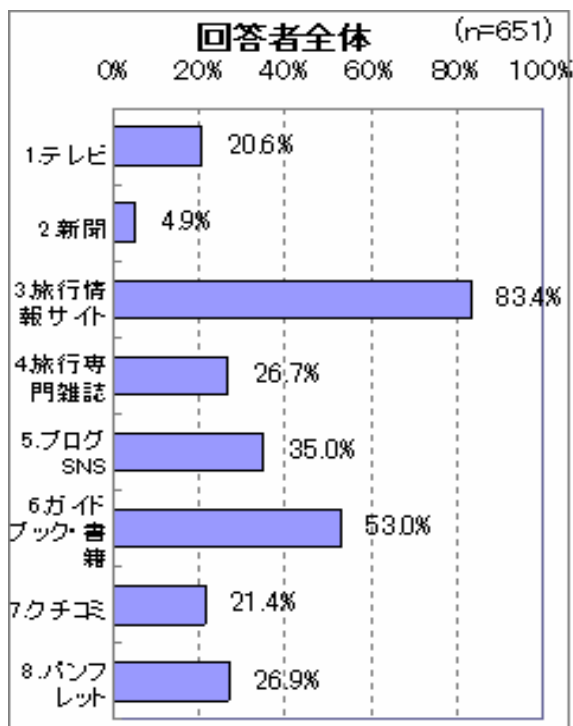


11) 旅行前に参考にしたメディア ~ トップは旅行情報サイト ~

参考メディアとしては、旅行情報サイト(83.4%)がトップ、ついで「ガイドブック、書籍」(53.0%)という結果に。

旅行情報サイトなどで事前に現地情報などを調べ、実際に旅行に行くときは、ガイドブックを購入して旅先を回る人が多いと推測できる。

なお、この夏に旅行へ行かなかった人へは、日頃参考にするメディアをヒアリングしたが、“テレビ”という回答が実際の旅行者と比較して高く、日常的な場面では、テレビをみて需要喚起をされる層も多いことが伺える。



まとめ

今回のアンケート調査では、旅行意欲の高い「旅のオピニオンリーダー」が多く回答しており、2008年夏休みの過ごし方としては、「海外旅行」「国内旅行」に出掛けた人が圧倒的に多い結果となった。

現在、海外渡航者数減少の原因のひとつとして大きく取り上げられている、物価高や燃油サーチャージ高騰は「旅のオピニオンリーダー」への影響は少なく、旅を取りやめる原因として「休暇日数の少なさ」が大きく影響することがわかった。

「夏休みの日数と旅行実施の関係」(P5.P6)からも、休暇日数と比例して旅行を実施する傾向が強く、旅行意欲は休暇日数4日間以上で高まり、海外旅行は6日間以上が実施検討の一つの目安となることがわかった。

調査結果利用時について

調査結果の記事及び、グラフや表を、引用・転載する場合は、以下手順に従ってご利用ください。

なお、本レポートでご報告以外の詳細のデータについてのご質問、問い合わせ等も、以下窓口までお願い致します。

「旅行のクチコミサイト フォートラベル(<http://4travel.jp/>)」調べと明記。

掲載前に必要事項を記載の上、弊社に連絡。

< 必要事項 >

会社名、担当者名、連絡先(メールアドレス、電話番号)、使用用途、発売日/掲載日

< 連絡・お問い合わせ窓口 >

フォートラベル株式会社 広報担当 矢野

Mail:press@4travel.jp

TEL:03-5283-1445